

県土強靱化・インフラ整備対策特別委員会記録

<p>1 会議の日時</p>	<p>開 会 午前 9 時 5 8 分          令和 7 年 2 月 2 7 日          閉 会 午前 1 0 時 5 4 分</p>	
<p>2 会議の場所</p>	<p>第 6 委員会室</p>	
<p>3 出席者</p>	<p>委 員</p>	<p>委員長 猫 田 孝                      副委員長 小 原 尚          委 員 森 正 弘                      野 村 美 穂      澄 川 寿 之                   森 治 久                      藤 本 恵 司      平 野 恭 子                   森 益 基                      黒 田 芳 弘</p>
	<p>執 行 部</p>	<p>別 紙 配 席 図 の と お り</p>
<p>4 事務局職員</p>	<p>主査 横田 直道                      主事 水谷 玲葉</p>	

5 会議に付した案件		
件	名	審 査 の 結 果
1	県土強靱化・インフラ整備対策に関する調査について (1) 第二期岐阜県公共施設等総合管理基本方針(案)について (2) 第3期岐阜県強靱化計画の策定について (3) 第五期岐阜県地震防災行動計画の策定について	原案のとおり決定
2	提言について	
3	その他	

## 6 議事録(要点筆記)

### ○猫田孝委員長

ただいまから、県土強靱化・インフラ整備対策特別委員会を開会する。

本日の委員会は、重点調査項目に基づき、次第に記載の議題について、協議いただくため開催したものである。

最初に、第二期岐阜県公共施設等総合管理基本方針(案)について、執行部の説明を求める。

(執行部説明)

### ○猫田孝委員長

ただいまの説明に対し質問はあるか。

(発言する者なし)

### ○猫田孝委員長

質問もないようなので、この議題は終了する。

次に、第3期岐阜県強靱化計画の策定について、執行部の説明を求める。

(執行部説明)

### ○猫田孝委員長

ただいまの説明に対し質問はあるか。

### ○黒田芳弘委員

本年2月4日からの大雪で、倒木が何本か電線にかぶさった状況を目にした。県による立木の事前伐採について、取組状況を説明願いたい。

### ○永井防災課長

危機管理部では、県、市町村、電力会社で費用を負担し合い、電線沿いの立木を伐採する事業を行っている。平成27年度から事業を始め、毎年3,000万円の予算を確保し、今年度は11市町で実施されている。なお、倒木により孤立地域の発生が懸念されるが、その場合には、孤立した方の安否、食料や物資の状況を確認し、速やかに必要な支援を行うことが大切であり、その体制も整えてまいりたい。

### ○黒田芳弘委員

大雪の際には倒木で電線が切れると、感電の恐れがあるため除雪が進まず、停電も復旧できないという悪循環が起こる。事前伐採の実施にあたり、地権者が全額負担することは難しいと思われるが、どういった負担割合で実施しているか。

### ○永井防災課長

電力会社が2分の1、県と市町村が4分の1ずつを負担している。地権者の負担はない。

### ○所道路維持課長

県土整備部では「県管理道路沿いの民有地樹木伐採に係る補助制度」を設けている。県が2分の1を負担し、残りを市町村と地権者が負担する制度となっている。

### ○黒田芳弘委員

倒木による停電は、街中や2車線の道路沿いというよりは、1車線の限られた場所で起こるものかと思う。引き続き市町村とも連携して事業を進めてほしい。

### ○野村美穂委員

トイレトラックはどの程度の規模の避難所に派遣する想定か。

### ○永井防災課長

1回の給水で約1,000回の使用が可能。50人程度の避難所であれば4日間程度の使用が可能と考える。

○野村美穂委員

トイレトラックは1台しかなく、すぐにタンクがいっぱいになってしまうのではないかと。他にトイレトラックを所有している団体との連携はできるのか、また県内で所有されている台数はどの程度か。

○永井防災課長

県のトイレトラックは全国規模のネットワークに加盟しており、少し前のデータでは27団体が相互に応援し合うこととなっている。また、県内では、恵那市がコンテナタイプのトイレを所有していると伺っているほか、今後、国の交付金を活用していくつかの市町村でも整備が予定されている。国が車両の登録制度を構築するとのことであり、それを活用しながら応援し合うことも想定している。

○野村美穂委員

是非連携を進めてほしい。トイレトラックは、排泄物を処理してから再度利用できるまでにどの程度の時間がかかるのか。

○永井防災課長

排泄物のくみ取りは現場で行うため、それが終わればすぐに使用可能である。

○野村美穂委員

災害時において、くみ取りは可能なのか。

○永井防災課長

能登半島地震では、道路や処理施設が被災する事例もあった。そのため、携帯トイレや仮設トイレなどでの対応や、業者の広域応援といった対応も検討する。

○野村美穂委員

1台のトイレトラックだけでは十分と言えない。簡易トイレの備蓄など、それ以外の方法も啓発し、個人の防災意識の向上に努めてほしい。

○小原尚副委員長

水や食料の備蓄については積極的に啓発されているが、トイレの備蓄についても併せて啓発をお願いしたい。

○永井防災課長

積極的に広報・啓発を行っていききたい。

○藤本恵司委員

震災対策の見直しに関して、「小型消防車両、軽量化された救助用資機材などの整備推進」とあるが、「小型消防車両」とはどのようなものを想定しているか。

○此島消防課長

主に、可搬ポンプや資機材を積載する軽貨物自動車を想定している。

○藤本恵司委員

チェーンソーのような資機材についても県の補助の対象となるのか。

○此島消防課長

消防団が使用する（チェーンソー等の）救助用資機材の軽量化は県の補助対象外であるが、国庫補助の対象とされており、引き続き、国庫補助の活用を市町村に働きかける。なお、常備消防向けには、令和7年度に電動油圧式救助資機材を消防学校に整備し、訓練に活用する予定としている。

○藤本恵司委員

資機材の取扱訓練が消防団の負担になっている。こうした観点からも支援をお願いしたい。

○此島消防課長

今年度、消防団員を対象に、身近な資機材を使った倒壊家屋からの救出訓練を、消防学校で実施した。訓練の動画も制作したところであり、各消防団における訓練の負担軽減や質の向上の一助となるよう配信していく。

○猫田孝委員長

質問も尽きたようなので、この議題は終了する。

次に、第五期岐阜県地震防災行動計画の策定について、執行部の説明を求める。

(執行部説明)

○猫田孝委員長

ただいまの説明に対し質問はあるか。

(発言する者なし)

○猫田孝委員長

質問もないようなので、この議題は終了する。

次に、提言の審議に入る。これまでの2年間の調査結果を踏まえ、提言として取りまとめた。

提言の文案については、あらかじめ配付したところである。

何か意見はあるか。

(発言する者なし)

○猫田孝委員長

意見もないようなので、案のとおり、提言を決定したい。なお、埼玉県の道路陥没事案などは、時点更新の可能性があり、修正については、正副委員長に御一任いただきたい。これに異議ないか。

(「異議なし」の声あり)

○猫田孝委員長

異議がないので、そのように取り扱う。

なお、本会議における委員長報告は、提言の内容を抜粋して行う。その文案については、正副委員長に一任いただきたいが、これに異議ないか。

(「異議なし」の声あり)

○猫田孝委員長

異議がないので、そのように取り扱う。

なお、本日審議した提言は、議会閉会后、知事に対して手交のうえ報告を行うので、承知おき願いたい。

以上で、本日の議事は終了したが、ほかに何か意見等はないか。

また、執行部は何かないか。

(発言する者なし)

○猫田孝委員長

意見がないようなので、本日の委員会を閉会する。

県土強靱化・インフラ整備対策特別委員会 配席図

令和7年2月27日

第6委員会室

